
平成29年度
五所川原市民討議会 報告書



平成29年度 五所川原市民討議会実行委員会

目次

● 市民討議会の概要 1
・ 事業概要	
・ タイムスケジュール	
・ 話し合いのルール	
● 市民討議会の目的・手法 4
・ 市民討議会の目的	
・ 市民討議会の手法	
● 討議の進め方と論点（ねらい） 6
・ 全体テーマ	
・ テーマ1～テーマ3	
● 討議シート 8
・ テーマ1～テーマ3（提言）	
● 市民討議会資料編 24
・ 実行委員会規則	
・ 参加者案内通知	
・ 参加者アンケート結果	
・ 広報記事	
・ 五所川原市民討議会実行事業報告	
・ 「平成29年度五所川原市民討議会実行事業」参加者アンケート結果	
・ 五所川原市民討議会実行事業「親子で体験！森のビンゴ族」アンケート結果	
・ コーディネータープロフィール	

市民討議会の概要

■ 事業概要 ■

- 事業名 平成29年度 五所川原市民討議会
- 運営形態 五所川原市・公益社団法人 五所川原青年会議所 共催
- 開催期日 平成29年7月22日（土）
13時30分～17時30分
- 開催場所 五所川原市民学習情報センター
- 参加者 20人
- 参加者選出 住民基本台帳から無作為に抽出した1,500名の市民へ参加案内を送付し、44名の応募がありました。厳正なる抽選の結果35名を参加者と決定し参加依頼を送付いたしました。
- 討議テーマ 「ごしょがわらの『子育て』をみんなで考えよう！
～より良い子育て環境って何だろう？～」
- 小テーマ
 - 【テーマ1】：ごしょがわらの子育て環境の良いところ・改善してほしいところ
 - 【テーマ2】：より良い子育て環境に向けて必要なこと
 - 【テーマ3】：より良い子育て環境に向けて自分たちで出来ること（企画）
- 情報提供 より良い子育て環境とは
- 討議進行 【少人数のワークショップ形式によるグループ討議】
 - ①参加者を討議グループ（1グループ5人、計5グループ）に分け、進行は実行委員会のファシリテーターが務めました。
 - ②討議グループごとに小テーマに関するグループディスカッションを行い、グループとしての意見を集約しました。
 - ③グループで集約した意見を発表しました。
- 実施報告 討議結果は報告書にまとめ提言として市長に提出します。

■平成29年度五所川原市民討議会プログラム■

平成29年7月22日（土）

五所川原市民学習情報センター

TIME	内容
13:00～	受付開始
13:30～	開会
13:39～	コーディネーター紹介
13:50～	市民討議 テーマ1 『ごしょがわらの子育て環境の良いところ・改善してほしいところ』
14:33～	休憩
14:53～	市民討議 テーマ2 『より良い子育て環境に向けて必要なこと』
15:35～	休憩
15:45～	市民討議 テーマ3 『より良い子育て環境に向けて自分たちで出来ること』（企画）
16:26～	グループ発表
16:52～	まとめ
17:02～	閉会
17:03～	記念撮影
閉会后	参加者アンケート 随時解散

※ 運営の都合上、若干変更となる場合がございます。

■ 話し合いのルール・意見の出し方 ■

討議に先立ち、総合コーディネーターより、話し合いのルール及び意見の出し方について説明を行いました。

各テーブルでは、ファシリテーターが、討議がスムーズに進むよう、付箋の使い方や話し合いの進め方などについてのサポートを行いました。

話し合いのルール

- ①自分だけ話さない
- ②頭から否定しない。
質問として聞く。
- ③人の意見を最後まで聞く。
- ④楽しい雰囲気大切に。

市民討議会の目的・手法

■ 市民討議会の目的 ■

今回の市民討議会の目的は、自治意識の向上と自治の担い手の育成としました。このディスカッションを通じ、市民がよりよい暮らしのために何を求め、どう行動しようとしているのかという本音を引き出すとともに、そのような場を提供することで、市民参加者が今まで以上に、この地域に興味を持ち、自らが主体的に行動することの重要さを認識していただくという市民意識の変革を期待するねらいが込められています。

■ 市民討議会の手法 ■

～プラーヌクスツェレとの比較で～

今回の市民討議会は、ドイツの市民参加の手法である「プラーヌクスツェレ（注）」に学びながらも、独自に地域に見合った形に再構成し、実施するにあたり、様々な創意工夫を行いました。その特徴は次の通りです。

1. 運営組織＝実行委員会形式

五所川原市と公益社団法人五所川原青年会議所の共催事業として開催し、開催準備から当日の運営を両者からなる実行委員会が担当しました。実行委員会は、計8人で構成され、4月26日の初会合から7月22日の開催日まで、延べ5回開催されました。

実行委員会では、常に当日参加する市民参加者の立場に立った議論を心がけてきました。また、自由な意見交換と立場を超えた実行委員としての公平性を基本として、「提案・討議・検証・改善」を何度も繰り返しながら進められ、終盤では、当日の初参加の市民を想定して、実際にワークショップを行いました。

2. 住民基本台帳による完全無作為抽出

市民討議会への参加の呼びかけは、18歳以上の市民を対象に住民基本台帳～無作為抽出を行い、1,500名に参加依頼書を送付しました。一定地域に偏らないよう旧市町村単位の人口比率を加味したことで、より地域の構成要素に沿った抽出となりました。締め切り日までに送られてきた参加承諾書は、44名でした。

なお、個人情報保護の観点から抽出は五所川原市が、発送・集計作業は五所川原青年会議所で担当しました。

3. 話し合いの方法

話し合いは、プランクスツェレとほぼ同様の手法で行われました。その特徴の1点目は、1グループ約5人単位で全5グループが同時に話し合いを進めたことです。少人数での話し合いでは、グループ内すべての人が発言する機会があります。2点目は、各グループにより発表が行われ、全体の意見の傾向を見ることと、参加者全体の意見の共有に努めたことです。

4. コーディネーターによる先導

話し合いにおいて、スムーズな進行とテーマから逸脱しないように有識者であり、経験豊富な弘前大学大学院地域社会研究科の准教授、平井太郎氏にコーディネーターとして全体の総括を行っていただきました。

(注)：解説：プランクスツェレとは・・・

プランクスツェレ（独：Planungszelle：計画細胞）は、ペーター・Cディネールドイツ・ヴパタル大学名誉教授により1970年代に考案された市民参加の手法です。

ドイツでは、1990年のドイツ統一後、地方公共団体において住民投票制度が導入されていたことに伴い、直接民主主義に対する認識が高まりました。このような潮流の中で、市民参加の手法の1つとしてプランクスツェレが注目されました。現在はスペインやオランダなどでも取り組みがなされています。他の市民参加の手法に比べてコストがかかる点と開催の準備や最終報告に時間がかかる点に問題があるものの、サイレントマジョリティと呼ばれる一般の市民の声なき声を抽出する方法としてきわめて有効であると評価されています。

★定義

『プランクスツェレは、無作為抽出で選ばれ、限られた期間、有償で、日々の労働から解放され、進行役のアシストを受けつつ、事前に与えられた解決可能な計画に関する課題に取り組む市民グループである』～「プランクスツェレ(ディーネル教授 著)」より～

★主な特徴（ドイツ型）

- 1 話し合いへの参加者を無作為抽出で選ぶ。
- 2 参加者に謝礼を払う。
- 3 参加者だけで話し合いを行い、全体で投票を行う。
- 4 各話し合いの前に現状や課題などの情報提供を行う。
- 5 まとまった結果を市民答申として公表する。

討議の進め方と論点（ねらい）

◆全体テーマ

ごしよがわらの「子育て」をみんなで考えよう！
～より良い子育て環境って何だろう？～

◇ねらい：現在、五所川原市では、人口減少・少子高齢化が進み、子どもたちの人数が大きく減少しています。未来を担う子どもたちが少なくなることは、地域の存続に関わってくるものであり、大きな問題となっています。

このことから、今回は子育て環境をテーマに、誰もが子育てを楽しめるよう、子育てしやすいまちづくりや、子どもたちに優しいまちづくりについて考えたいと思います。

子育てを取り巻く環境をより良くすることで、若い世代の定住を促進し、人口減少・少子高齢化の緩和、また、地域の活性化に繋げていくことを目的とします。

◇情報提供：より良い子育て環境とは

○テーマ1

「ごしよがわらの子育て環境の良いところ・改善してほしいところ」

◆論点：五所川原市の子育て環境について、市民目線の「良いところ・改善してほしいところ」を共有する。

◇ねらい：市民目線で五所川原市の子育て環境の「強み・弱み」等の現状を整理し、地域の実情に応じたより良い子育て環境を検討する土台とする。

○テーマ2

「より良い子育て環境に向けて必要なこと」

◆論点：テーマ1で整理した五所川原市の子育て環境の「強み・弱み」等を踏まえ、より良い子育て環境の実現に向け、強みを伸ばし、弱みを克服するための方策と実施主体を検討する。

◇ねらい：より良い子育て環境を実現するための方策を検討し、それぞれの実施主体を検討することで、市民が自分たちでできる取組を見つける。

◇情報提供：子育て環境の事例を平井先生の方から情報提供を頂く。

○テーマ3

「より良い子育て環境に向けて自分たちで出来ること」（企画）

◆論点：自分たちが思い描く子育て環境の実行事業として、テーマ2で整理した自分たちでできる取組の企画を考える。

◇ねらい：年度内に行う実行事業の企画を行うことで、参加者のまちづくりに対する参画意識の向上に繋げる。

◇補足：本討議会で出た企画をもとに、年度内に事業を実施する予定です。

討議シート

チーム名: いいね

ファシリテーター: 弘前大学 学生

討議テーマ1

「ごしょがわらの子育て環境の良いところ・改善してほしいところ」

◆五所川原市の子育て環境について、市民目線の「良いところ・改善してほしいところ」を共有する。

良いところ

- ・ELMの中にすくすくーるがある
- ・天気をきにせず、子どもたちを遊ばせる場所がある
- ・自然について教えてくれる人がいる
- ・子どもたちが自発的に自然と戯れている
- ・子どもたちがカエルやどじょうを大事にしている
- ・自分たちの教頭先生が山好きでちゃんと話を聞くと面白い

改善してほしいところ

- ・子育て情報誌は文字ばかりで読みにくい
- ・小さい子の健康に関する情報をもっと伝えてほしい
- ・ユニバースに子育て情報の掲示板があるが目立たない
- ・いじめ防止対策の強化
- ・仕事も少ないし賃金も安い
- ・学区外に通学させると送迎や手続きが面倒

討議テーマ2

「より良い子育て環境に向けて必要なこと」

◆テーマ1で整理した五所川原市の子育て環境の「強み・弱み」等をふまえ、より良い子育て環境の実現に向け、強みをのばし、弱みを克服するための方策と実施主体を検討する。

アイデア

- ・空き家や使われてない学校を利用して何かイベントを行う
- ・広報ごしよがわらに子育て情報の専用ページをイベント告知と併せて大事な情報を発信する
- ・キッズカフェを作る
- ・親でも子どもでも悩みを聞いてくれる場を作る
- ・子育てについて情報交換できるような場所をつくる

討議テーマ3

「より良い子育て環境に向けて自分たちで出来ること」

◆自分たちが思い描く子育て環境の実行事業として、テーマ2で整理した自分たちで出来る取り組みの企画を考える。

企画

チーム名	いいね
企画名	子どもカフェ
いつ	10月時間帯は午後
どこで	調理器具付きのコミュニティセンター
内容	子どもと一緒に食事を作り、そこで子育て情報の交換などをする
協力者	社会福祉協議会 農家さんの協力も得る
効果	知りづらい情報を交換し合える 子どもの居場所を作れる 栄養たっぷりの食事がとれる 育児放棄の対策にもなる

チーム名: チームいのち

ファシリテーター: 弘前大学 学生

討議テーマ1

「ごしょがわらの子育て環境の良いところ・改善してほしいところ」

◆五所川原市の子育て環境について、市民目線の「良いところ・改善してほしいところ」を共有する。

良いところ

- ・保育所入所で3人目の子から無料になった。
- ・ファミリーサポートが低料金で受けられる。
- ・学校への迎えを代行してくれる。
- ・待機児童は少ない。
- ・小学校がきれい。
- ・商業施設が充実している。
- ・親子の集いの場が多い。
- ・子供を連れての買い物がしやすい。

改善してほしいところ

- ・センターができたが、給食がおいしくない。
- ・高校の選択肢が少ない。
- ・整備された公園が少ない。
- ・子供の遊ぶところが少ない。
- ・河川の周りの改善が足りない。
- ・親同士の横のつながりも薄い。
- ・給食のメニュー構成、味、どちらも悪い。
- ・道路が狭いところが多く危険。
- ・医療費が高い。

討議テーマ2

「より良い子育て環境に向けて必要なこと」

◆テーマ1で整理した五所川原市の子育て環境の「強み・弱み」等をふまえ、より良い子育て環境の実現に向け、強みをのばし、弱みを克服するための方策と実施主体を検討する。

アイディア

- ・給食を親子みんなで食べる会。
- ・子供ワークショップを開く。
- ・行政、議員とのワークショップ。ワークショップ後にみんなで給食を食べてみよう。
- ・地域の大人と子供で公園の草とり。
- ・町内、集落単位での子供会の拡充。
- ・子供、学校を支える地域の達人発掘事業。
- ・地域の人、こども等住民全員参加の「給食コンテスト」(みんなでメニューを考える)
- ・町内会のパトロール。(地域交流、健康)
- ・親子で公園理想化計画！！

討議テーマ3

「より良い子育て環境に向けて自分たちで出来ること」

◆自分たちが思い描く子育て環境の実行事業として、テーマ2で整理した自分たちで出来る取り組みの企画を考える。

企画

チーム名	チームいのち
企画名	給食で地域を盛り上げタイ！
いつ	10月
どこで	学校の食堂
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1、給食を食べてみる。(現状を知る) 2、メニューの提案。 3、人気投票。
協力者	学区住民・給食センターの方
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・食育。 ・地域コミュニティの活性化。

チーム名:ソルティ・ライチ

ファシリテーター:高橋 尚裕

討議テーマ1

「ごしょがわらの子育て環境の良いところ・改善してほしいところ」

◆五所川原市の子育て環境について、市民目線の「良いところ・改善してほしいところ」を共有する。

良いところ

- ・近くに公園がある、自然が多い。
- ・虫送り、花火大会、ねぶたがある。
- ・ショッピングモールがある。
- ・保育園がたくさんある。
- ・病院が多い。
- ・子育て広場の設置。

改善してほしいところ

- ・公園等のメンテナンスが行き届いていない。
- ・医療費免除が他市に比べ少ない。
- ・地域、町内の関係の希薄化。
- ・放課後児童預かりの定員が少ない。
- ・産婦人科が少ない。
- ・公園の遊具が少ない。
- ・一人親家庭に対する補助が少ない。

討議テーマ2

「より良い子育て環境に向けて必要なこと」

◆テーマ1で整理した五所川原市の子育て環境の「強み・弱み」等をふまえ、より良い子育て環境の実現に向け、強みをのばし、弱みを克服するための方策と実施主体を検討する。

アイデア

- ・広場を有効活用(イベント等を開催する、出来るようにする)
- ・地域の交流を深めるためラジオ体操を行う。
- ・秋に祭りがないため、新しい祭りの開催。(仮装行列等)
- ・イベント活動を市民全体に広めるための広報誌、情報誌の刊行。
- ・子供たちに伝統行事を紹介するイベントや、冊子の作成。
- ・ラジオ体操を再開し、みんなで公園の整備をする
- ・イベントを紹介するイベントを行う。
- ・プレミアムハロウィンイベント

討議テーマ3

「より良い子育て環境に向けて自分たちで出来ること」

◆自分たちが思い描く子育て環境の実行事業として、テーマ2で整理した自分たちで出来る取り組みの企画を考える。

企画

チーム名	ソルティ・ライチ
企画名	プレミアムハロウィンin川端町
いつ	10月最終週の金曜日
どこで	夕方から夜にかけての川端町
内容	公園の遊具を直すために子供たちが仮装をし、募金を集める。
協力者	子供たちのサポートをする青年会議所のメンバーや、飲食店等のお店の方
効果	公園の現状を知ってもらう。 地域の人たちと交流が生まれる。 お金が集まることにより、子供たちの遊ぶ環境が整う。

チーム名: チーム古川

ファシリテーター: 古川 康平

討議テーマ1

「ごしょがわらの子育て環境の良いところ・改善してほしいところ」

◆五所川原市の子育て環境について、市民目線の「良いところ・改善してほしいところ」を共有する。

良いところ

- ・自然が多い、海がきれい。
- ・住環境が良い。
- ・近くに親戚がいたり地域が目が届く。
- ・保育園がたくさんある。
- ・畑等が多く、野菜などをよく知っている。
- ・人混みが少ない。

改善してほしいところ

- ・就職先が少ない。
- ・子供が気軽に遊べる場所が少ない。
- ・言葉遣い、挨拶ができない。
- ・冬場に遊ぶところが少ない。
- ・子供向けのイベントがない。
- ・水路が多く危ないところがある。
- ・一人親家庭に対する理解、状況の共有がない。
- ・子育て支援についての情報が少ない、わかりにくい。

討議テーマ2

「より良い子育て環境に向けて必要なこと」

◆テーマ1で整理した五所川原市の子育て環境の「強み・弱み」等をふまえ、より良い子育て環境の実現に向け、強みをのばし、弱みを克服するための方策と実施主体を検討する。

アイディア

- ・多世代で様々な活動の母体を作る。
- ・自然の有効活用。1、親子で参加する冬の遊び。
2、津軽の郷土料理を子供と食べる。
- ・こども会と、老人会のような団体との交流。
- ・子供の体を動かすようなイベントの企画。(体力測定等)
- ・身近な、すぐ行ける公園(緑地)を再生、整備するプロジェクトを企画する。
- ・夏休みのプール送迎バスがほしい。
- ・公園のゴミ拾いや整備を行う。
- ・情報発信の集団として町内会報を利用し、防災意識の向上を図る。
- ・堰が多いので、高齢者や子供の安全のために柵等の対策をとってほしい。

討議テーマ3

「より良い子育て環境に向けて自分たちで出来ること」

◆自分たちが思い描く子育て環境の実行事業として、テーマ2で整理した自分たちで出来る取り組みの企画を考える。

企画

チーム名	チーム古川
企画名	自然・食・つながり
いつ	10月
どこで	狼野長根公園
内容	1、漬物コンテスト 2、大自然宝さがし 3、親子運動会
協力者	地域のお母さん。農協婦人会。
効果	地域の味を伝える(のこす)減塩も考慮。 運動による体力づくり・自然と触れ合い 野性味が増す。

チーム名: あっぱれ昭和チーム ファシリテーター: 成田 和代

討議テーマ1

「ごしょがわらの子育て環境の良いところ・改善してほしいところ」

◆五所川原市の子育て環境について、市民目線の「良いところ・改善してほしいところ」を共有する。

良いところ

- ・子どもたちの朝のあいさつがよい
- ・兄弟が多い所
- ・道路で遊んでない
- ・暑い日は川で泳げる
- ・子育てをサポートしてくれる家族が近くにいる

改善してほしいところ

- ・子どもたちの公園が足りない
- ・ゴミ捨てるルールを守らない
- ・子どもの医療費を無料化にしてほしい
- ・保育園を無料化にしてほしい
- ・子供たちが道路をふざけて歩いている
- ・どこに行くにも親が送り迎えしている
- ・家族やグループで楽しめる公園がほしい

討議テーマ2

「より良い子育て環境に向けて必要なこと」

◆テーマ1で整理した五所川原市の子育て環境の「強み・弱み」等をふまえ、より良い子育て環境の実現に向け、強みをのばし、弱みを克服するための方策と実施主体を検討する。

アイデア

- ・大人と子供と一緒に、食育・自然を取り入れて行事をする
- ・多少の危険はともなうかもしれないが、NPOの力を借りて、サバイバル的な機会を増やす
- ・友達作りのサポートを家族や地域ごとに行う
- ・物作り体験を組み込んだ遊びをして楽しむ
- ・昔のように何か一つでも家の仕事を預ける
- ・公園(狼野長根)を管理してもっと活用してほしい
- ・未経験なことを体験させる
 - ・木登り
 - ・木材の取扱い(のこぎり・金づち)
 - ・料理(包丁など調理器具)

討議テーマ3

「より良い子育て環境に向けて自分たちで出来ること」

◆自分たちが思い描く子育て環境の実行事業として、テーマ2で整理した自分たちで出来る取り組みの企画を考える。

企画

チーム名	あっぱれ昭和チーム
企画名	自然隊(自然愛支隊)
いつ	(10月)
どこで	狼野長根公園
内容	公園を親子で自然観察(植物・生物)しながら散策(食べられる植物を採取し、それを使って調理して闇鍋にして食べる)
協力者	植物・生物の専門家 調理出来る地元の方
効果	公園の活用 地元の方との交流 サバイバル体験 自然愛を育む 地元愛を育む

市民討議会 資料編

平成29年度 五所川原市民討議会実行委員会会則

(名称)

第1条 本会は、平成29年度五所川原市民討議会実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、平成29年度五所川原市民討議会（以下「市民討議会」という。）を円滑に実施することを目的とする。

(所掌事務)

第3条 実行委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 平成29年度五所川原市民討議会実行委員会会則（以下「会則」という。）の制定及び改廃に関すること。
- (2) 事業計画及び事業報告に関すること。
- (3) 予算及び決算に関すること。
- (4) 市民討議会の実施に関すること。
- (5) 市民討議会の成果及びその手法の効果の検証・評価に関すること。
- (6) 市民討議会の実施状況の公開に関すること。

(組織)

第4条 委員は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 公益社団法人五所川原青年会議所会員
- (2) 五所川原市職員
- (3) 前2号に掲げるもののほか、実行委員会委員長が特に必要と認める者

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、平成30年3月31日までとする。

2 補欠により就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員)

第6条 実行委員会に、次に掲げる役員を置く。

(1) 委員長 1名

(2) 副委員長 若干名

(3) 書記・会計 若干名

(4) 監事 2名

2 役員は委員の互選により選出する。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が職務を行うことができない場合は、その職務を代理する。

(会議)

第7条 実行委員会の総会及びその他会議は、委員長が召集する。

2 実行委員会の総会は、第3条第1号から第3号までの規定に関して審議し、決定する。

3 実行委員会のその他会議は、第3条第4号から第6号までの規定に関して協議及び検討する。

4 実行委員会の総会及びその他会議等の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務局)

第8条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

（経費）

第9条 実行委員会の経費は、補助金その他の収入をもって充てる。

（予算及び決算）

第10条 実行委員会の収支予算については、総会の議決により定め、収支決算については、事業終了後、速やかに監事の監査を経て総会の認定に付さなければならない。

（会計年度等）

第11条 実行委員会の会計年度は、この会則の施行日から始まり、平成29年3月31日に終わる。

（解散）

第12条 実行委員会は、その目的が達成された時に解散する。

（その他）

第13条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

附 則

この会則は、平成29年4月26日から施行する。

■参加者案内通知■

平成29年6月吉日

市民の皆様へ

五所川原市長 平山 誠敏

公益社団法人 五所川原青年会議所
理事長 宮崎 敬也

平成29年度五所川原市民討議会への参加のお願い

初夏の候 ますますご清栄のことと存じます。

この度、五所川原市と公益社団法人五所川原青年会議所は、「五所川原市民討議会」を協働で開催することといたしました（広報ごしょがわら6月号及び別紙に内容が掲載されております。）。

市民討議会は、五所川原市をより良いまちにするため、さまざまな立場や年代の市民の皆様から、幅広い意見を出し合っただき、市政への市民参加のきっかけづくりと、市民協働のまちづくりを推進していくものです。

この市民討議会への「参加のお願い」は、18歳以上のすべての市民の中から1,500名を無作為抽出し、送付させていただいています。

つきましては、貴方様が無作為抽出により選出されましたので、公私ともご多用の中、誠に恐縮ではありますが、趣旨をご理解の上、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

- | | |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 日 時 | 平成29年7月22日（土）13時30分～17時30分 |
| 2 場 所 | 五所川原市民学習情報センター
（住所：五所川原市字一ツ谷503番地5） |
| 3 討議会テーマ | ごしょがわらの「子育て」をみんなで考えよう！
～より良い子育て環境って何だろう？～ |
| 4 謝 礼 | 3,000円 |
| 5 参加定員 | 30名程度 |
| 6 進め方 | 参加者がいくつかのグループに分かれ、テーマに沿った意見を出し合っただき、グループごとにまとめていただきます。
なお、話し合われたアイディアや成果は、今後、市民討議会実行事業として、市民有志の手によって具体的な取組が行われる予定です。 |

- 7 回答方法
- (1) ご参加いただける場合
お手数ですが、別紙の承諾書に必要事項をご記入のうえ、同封の返信用封筒により、平成29年6月23日(金)までにご返送ください。
- (2) 不参加の場合
お手数ですが、別紙アンケート用紙にご記入いただき、同封の返信用封筒により、平成29年6月23日(金)までにご返送ください。
- 8 参加者の決定
参加の申込みが多数となった場合は、大変申し訳ありませんが、抽選とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。
- 9 その他
- 託児サービスなど
参加を承諾される方で、託児を希望する場合は、事前にご連絡ください(対象：1歳から未就学児まで)。
 - そのほか、ご不明な点がございましたら、下記事務局までお問い合わせください。



ひじりん®

【問い合わせ先】

五所川原市民討議会実行委員会事務局

(公益社団法人五所川原青年会議所内)

〒037-0052 五所川原市字東町17-5 商工会館

TEL: 0173-35-4049

(10:00~17:00 土日祝を除く)

FAX: 0173-35-4044

五所川原市財政部企画課

〒037-8686 五所川原市字岩木町12

TEL: 0173-35-2111 内線2152~2154

FAX: 0173-35-3617

■各種アンケート■

参加者アンケート集計結果

回答数 25名

(質問 1) 本日、この市民討議会に参加された動機はなんですか？（複数回答あり）

- | | | |
|---|-------------------|----|
| 1 | おもしろそうだったから…………… | 8名 |
| 2 | テーマなどにひかれたから…………… | 9名 |
| 3 | 報酬が魅力的だったから…………… | 0名 |
| 4 | その他…………… | 9名 |
- 市の課題について意見交換することが必要だと思うから
 - 特に、断る理由がなかった
 - 平井太郎先生の手伝い
 - 自分に子供がいたので興味本位で参加しました
 - 孫の育児の体験から
 - 平井先生のゼミ
 - 先生に参加をすすめられたから
 - 討議内容が常日頃考えていたことだったので
 - 興味があったから

(質問 2) 市民討議会の時間的な長さはいかがでしたか。（複数回答あり）

- | | | |
|---|-------------|-----|
| 1 | 長い…………… | 3名 |
| 2 | ちょうど良い…………… | 22名 |
| 3 | 短い…………… | 0名 |

(質問 2-1) 「長い」あるいは「短い」とお答えになった方におたずねします。
 ちょうど良い時間はどのくらいでしょうか。(複数回答あり)

()時間くらい。

2時間	1名
2.5時間	1名
3時間	1名
4時間	1名

(質問 3) 市民討議会を開催する曜日と時間帯についてお答え下さい。(複数回答あり)

曜日について	1 日曜日が良い	4名
	2 平日が良い	3名
	3 祝祭日が良い	1名
	4 特に気にしない	18名
時間帯について	1 午前中が良い	3名
	2 午後が良い	10名
	3 夜が良い	1名
	4 特に気にしない	12名

(質問 4) 市民討議会の報酬の額についてはいかがでしたか。

1	ちょうど良い	14名
2	ちょうど良い額だと思わない	2名
	適切な額は(5,000)円	2名
3	報酬は必要ない	8名
4	現金以外の報酬にすべきである	1名
	具体的に…無回答	1名

(質問 5) 市民討議会の小テーマは、討議を進める上で適切でしたか。

- 1 適切だった…………… 22名
2 適切ではなかった…………… 3名

(質問 5-1) 「適切ではなかった」とお答えになった方は理由をお書きください。

- 理 由…………… 3名
- ・テーマがやや漠然としていた
 - ・話し合いの範囲が大きすぎてテーマをしぼるのがむずかしかった
 - ・広すぎる

(質問 6) 討議グループについて、1グループの人数はいかがでしたか。

- 1 多い…………… 0名
2 ちょうど良い…………… 23名
3 少ない…………… 2名

(質問 7) 討議では自分の意見をきちんと言うことができましたか。

- 1 言えた…………… 15名
2 まあまあ言えた…………… 10名
3 ほとんど言えなかった…………… 0名

(質問 8) 参加されての充実感をお尋ねいたします。

- 1 充実していた…………… 25名
2 充実していなかった…………… 0名
3 どちらでもない…………… 0名

(質問 9) 討議していく中で、「子育て環境」についての考えに変化はありましたか。

1 自分の考えが参加前とくらべて大きく変わった…… 11名

理由… 孫との関係が良くなりそう

- … いろいろな意見を聞いた事、知らなかった事を聞いた事が、勉強になりました
- … 子育てに関する知識を身につけられた
- … 子育てのことをよく知ることができた
- … 色々な意見を聞くことが出来た
- … 意見がよかった
- … いろいろな視点
- … 他地域の方々との交流
- … 自分がやれることはなかなか難しい
- … 他の人の意見が参考になったから

2 どちらかというに変らなかった…… 14名

理由… 周りの人と同じような意見や考え方だった為

- … 改善してほしい意志はかわらない
- … 子どもの為の意見交換が出来て良かった
- … プロフィールシートで事前に考えていた企画案がグループ内で通ったので
- … 無回答…… 10名

(質問 10) 討議を通して、事業につながるアイデアが明らかになったと思われませんが、その事業に参加したいと思いませんか。

1 ぜひ参加したい…… 9名

2 どちらかというに参加したい…… 14名

3 どちらかというに参加したくない…… 2名

4 参加したくない…… 0名

(質問 1 1) これまでに「住民懇談会」などの市が主催する集まりに参加したことはありますか。

- 1 ある…………… 2名
2 ない…………… 23名

(質問 1 2) 市民討議会にかぎらず、このような市民参加型の事業にまた参加したいですか。

- 1 参加したい…………… 10名
2 都合が付けば参加したい…………… 15名
3 参加したくない…………… 0名

(質問 1 3) 実際に市民討議会に参加されてみて、どうでしたか？なんでも結構ですので感想をお書きください。

- ・いろいろな意見などが有り、参考になった。
- ・参加者が少ないと感じた。
- ・多くの意見から1つの意見がまとまっていく様子がよかった。
- ・いろんなジャンルの人が参加していて、良い刺激でした。
- ・いろいろ話が聞けて参加して良かったと思います。
- ・たのしかったです。五所川原のことを色々知れて良かったと思います。
- ・色々な意見を聞く事が出来て良かった。
- ・おもしろかった。
- ・勉強になりました。
- ・非常に有意義だった。
- ・未来を生きる子供たちには安心、安全な環境をもっと大人として地域住民として考えてあげたいとより強く思いました。

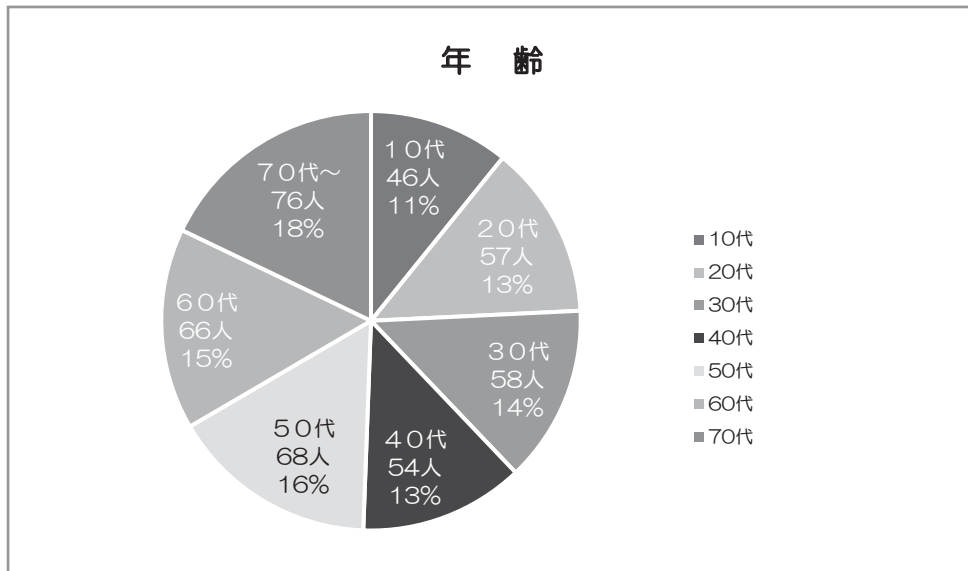
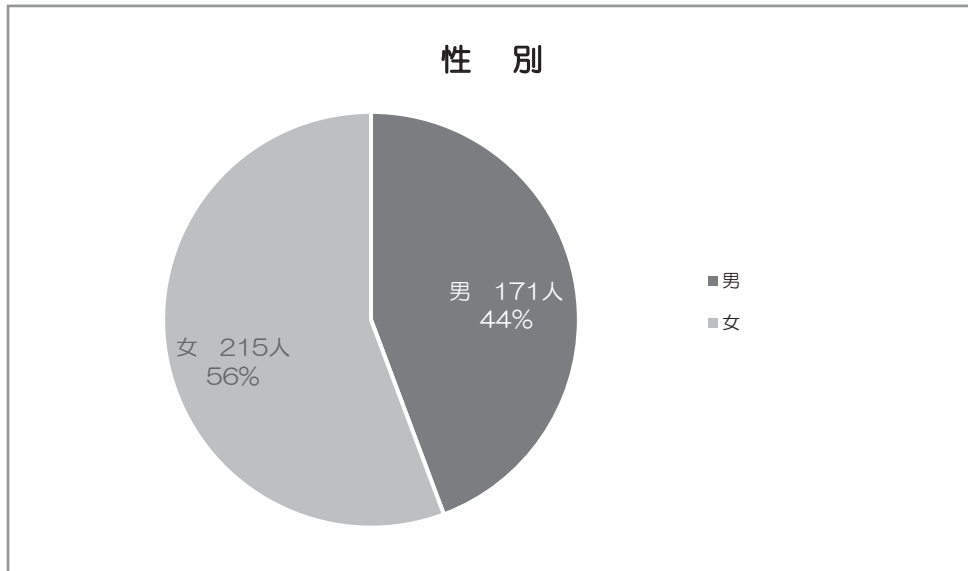
その他、今回の市民討議会に対するご意見やご要望がございましたら、以下にお書き下さい。

- ・もう少しテーマをしばれると話しやすかったと思う。

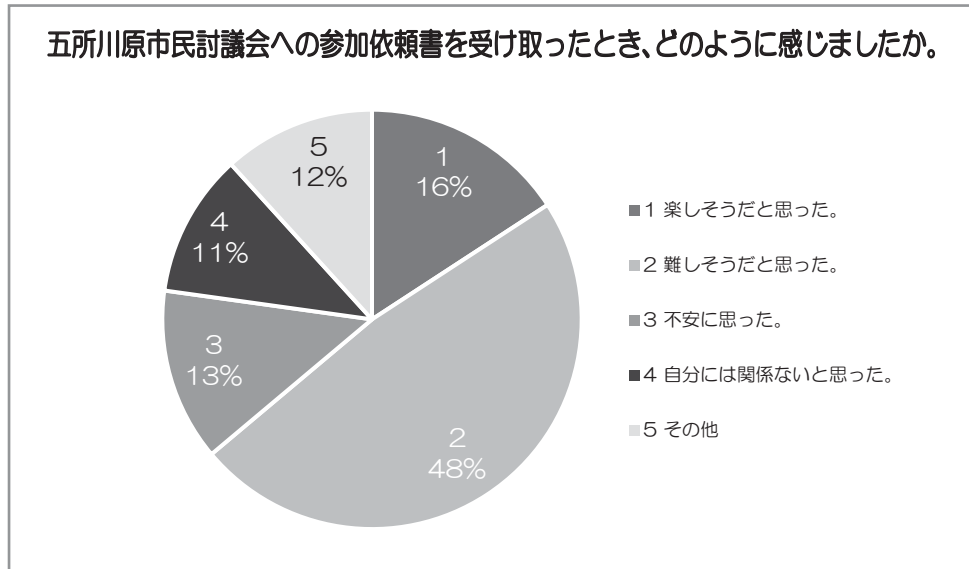
ご参加いただけない方に対するアンケート結果

425人回答 / 1,500人発送に対して

1 あなた自身について



2 五所川原市民討議会への参加依頼書を受け取ったとき、どのように感じましたか。



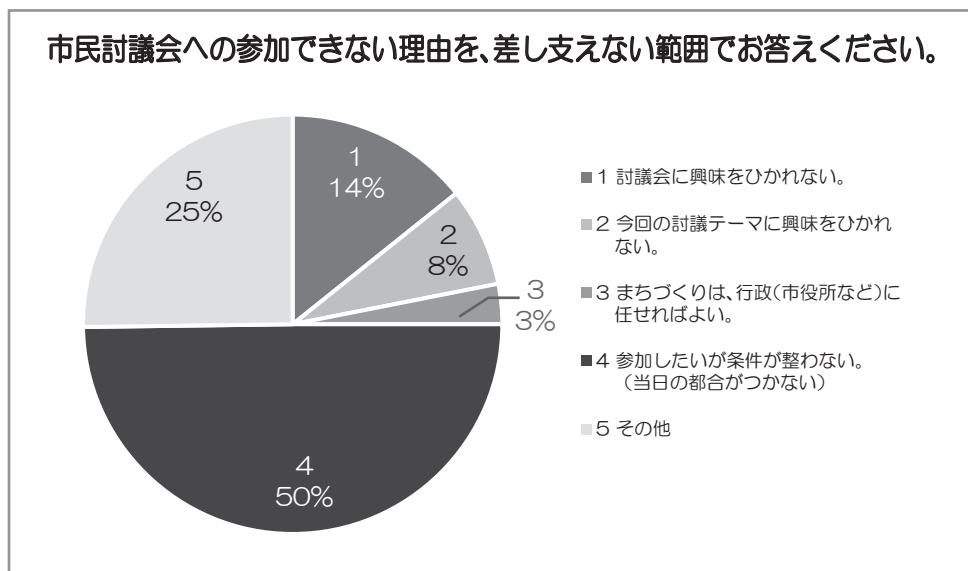
その他の意見

- 協力したいと思った
- 現在脳卒中による右マヒの状態なので、ほぼ家から出られない（代筆）
- 無駄な事（意味の無い事）をやるなと思う
- 意見を出し合うのが苦手
- 参加出来ないと思ってる
- この様な場があるなら自分の意見を伝えたい
- 仕事で時間取れないと思う
- 参加は難しいと思った
- いいテーマだと思いました
- テーマに沿ってとあるが、具体例などがなく、こういった趣旨が分からなかった
- どんなものか気になると思った
- 何これと思った
- よく分からない
- 驚いた
- なかなかいいことと思った
- もう子育てがおわったので
- 市民の声に耳を傾けようという取組みの意欲が伝わった
- 特別な感じはなかった
- 必要な事だと思います
- 一ヶ月以上も前の事なので約束出来ない
- 選ばれてすごいと思った

- とても良いディスカッションができる事を期待します
- 興味は持ちました
- なぜ自分が選ばれたか疑問でした
- せっかくなので参加してみたいと思った
- 孫がいるので身近な問題と思った

3 市民討議会への参加できない理由を、差し支えない範囲でお答えください。

(複数回答可)



その他の意見

- 学生のため、テスト期間中
- 病気の為、介護人なしでは参加できません(代筆)
- 4時間という長い時間が体力的に無理というか自信がない
- 子供のいる女性の職場では何かと子供の事で(行事や部活の試合など)土曜日の休み希望が多く中々休み希望はとれない
- 子供がいないので適切な意見が言えないと思う
- 会社の仕事上休みでないので参加できません
- 私以上にふさわしい方が多くいらっしやと思った
- 今、五所川原に住んでいない(学生)
- 現在2病院へ通院加療中の為
- 体調不良、介護認定を受けている状態です
- 学校の行事があり参加は無理です

- あまり長く住んでいないので、市の事が良く分からない。話し合いはにがて
- 野菜の収穫のため
- 休みは家事で忙しく余裕がない
- 興味がないわけではないが、まだそこについて深く考える程の知識もない。今回、いきなり書類がきておどろいているが次の機会があれば、参加を前向きに検討していきたいと思っています
- 生後2か月の子供がいるので
- 討議が難しい
- 高齢と自分のことで精一杯という状況である
- 出産したばかりで行けないから
- 参加したいと思わないのと、仕事があって行く事が出来ない
- 子育て世代や若い人の参加を多くするため
- 足が悪いので議会に参加できません
- 子育てのテーマはよくわからないので
- 介護者がいて長時間の外出は無理
- 仕事で県外に居住の為
- 2年前に大病をして体の具合が調整できない為
- 仕事を休んでまでは行けないので
- 体調が不調につき外出を控えています
- 単身赴任の為（出向）
- 学生なので授業があるため、今回は参加できません。
- 体調不良です
- 体の病気と目が不自由な為
- 私は、全盲ですので、1人で行動出来ないため、選ばれてうれしく感じた
- 仕事のため
- 子供がいるので行けません（小学生）
- 県外にいる為
- 自分は年が80才になったから出来ないと思った
- 子育てが終って、私に出来るかな？と思いました
- 自分の頭では、中々アイデアが出ないと思います
- 子育てに重点をおいていないようなので
- そういう場所で自分の意見を述べるのが苦手な為
- 子供をとりまく環境の現状をよく知らないまま、適当なことは言えないと思った
- 討議会で意見を出すことの不安がある
- 耳鳴病で話し合いができません
- 知的障害がある為判断不可

- 毎年この時期は、農作業の手伝いに行っている可能性が高いため
- 入院中につき予定たたず
- 当日の都合がつかない
- 仕事がなかなか休めない
- 病気により外出がおぼつかない
- 娘が里帰り出産の期間のため出席できません
- 子供が生後7ヶ月で人見知りが始まったため長く外出できない
- 親の介護のため時間がない
- 申し訳ありません。取材等があり出席できません
- 孫の結婚式の為
- 自分は性格が内気なので討議会で意見を述べるのが困難
- 仕事を休んでまで参加したいとは思えません
- 本人には理解がむずかしい
- 遠方にいるため参加できない
- 本人、認知症の為
- 当社の決算期中にあたり日程の都合がつかず申し訳ございません
- 仕方ないことだけど全く知らない人と討議することに少し不安になりました
- 大学サークル活動行事があり、参加できません。すみません
- 独身で子どももいないので、まだ実感がなく意見が言えないと思う
- 長くすわってられない
- 難聴なので
- 施設に入所中
- 講義があります
- 母の入院、私自身の体の不調の為
- バイト時間
- 親の法事と重なった為
- 出稼ぎ中（県外）
- 当日勤務のため参加できない
- 担当してるアルバイトの塾の時間と同時間の為
- 教員免許状更新のため
- 育児の為
- 口下手
- 本人は病気を患い体調が良くないため認知機能の衰退もあり参加できないため
- 勉強する気力がない（申し訳ございません）
- 農作業及び妻の介護等

- 高齢による難聴のため他の人に迷惑がかかるため
- 自宅介護のため時間が取れません。2時間位なら何とかできるけど4時間は長すぎると思います。時間に余裕ができれば又の機会にします。
- 初対面の方とグループ討論するのが苦手だから
- 県外の大学に進学しているため

4 市民討議会へのご意見等がありましたらご記入してください。

- 医療費の免除年数を延ばしてほしい。医療費が高い。通学路の信号機に歩行者信号機の増加。元々の市民の新築にも補助を。
- トマトを作っているのに、残ったものの加工する場所ができれば。そしてそこで働く方の場所にしてほしい。
- 5才児の子育てをしているので興味がありましたが、土曜は仕事がある為参加できませんでした。冬場や、雨の日などに子どもが遊べる場所があればなあと、個人的にはよく思います。体育館、公民館の活用を期待しています。
- 自分の子どもが通っている保育園は、日曜・祝日・年末年始がお休みで、日曜・祝日やっている保育園は少し遠い場所にあり、送迎の都合等考えると通わせるのが無理でした。仕事上休みの希望がなかなかとれないので、日曜・祝日やっている保育園が増えてくれれば助かります。
参加できませんが、子育てしていて不便に感じていることが多々あるので、子育てしやすい環境のための取り組みであればどんどんやってほしいです。
- 医療系の大学を一つでも作ったら定住につながると思います。
 - 五所川原から青森まで乗り換えなしでいきたいです。
 - 動物園や水族館などが無いため他へ遊びに行く。
 - ねぶたを押すのはいいが、観光客目当てで、住みたいとは思わない。他のシンボルもつくるべき。(若者向けのもの)
 - ELMは、札幌からきた人からしたら正直しょぼいから周辺をパチンコ店でなく、大学や専門学校、レジャースポットなどほしい。
- 五所川原市の活性化に繋がる市民議会なのでこれからも続けてもらいたいと思います。
- 休みが日曜日のみですので、参加が不可能です。そういう方も多くいらっしゃると思います。夜間の実施も今後考えていただけるとうれしいです。
- 話合いの内容が実際上の方に通って改善されるかどうか、実績が無いので。
- 私の母親は参加したいと言っていました。代替りの参加が可能かどうか？文章の中にふれていませんが、どうなのでしょう？
- 十三地区は、税金は高いが、子供の為になっていると感じられるのはスクールバスくらい。
五所川原の市街地の学校か、市外への通学を考えている家庭も少なくない。(子供が少ない為、もっと人数の多い学校、保育園で人間関係を勉強して欲しいから。)五所川原での子育てのメリットを感じられるようになって欲しい。今のところはない。

- 何が悪いかわからないと言えませんが、今の世の中コミュニケーションが不足で、先ず町内会活動が停滞している。大きな町内会にいますが、子供会が人数不足（特に参加者の減少）等で解散、他人の子供に声を掛けると不審者扱いされる。また親も生活におわれ忙しく大変。何か歯車がくるっているように思える。子供は地域皆で育てよう！！なんて口で言うのは簡単ですがなかなかの難問であります。
- 子育て世代として討議結果を楽しみにしています。市長へのご報告だけでなく、広報なので市民も拝見できればと思います。
- 広報をきちんとみていないので討議会についてわかりませんでした。ごしよりん体操のビデオ、実演をみたことはありません。今回のテーマの「子育て」の環境については人間関係を学ぶにはご近所、地域との関わりも大事かと思えます。（たとえば子供会等）
- 共稼ぎが多く、スポーツ大好きな子が多い中出来ない子がいっぱいいる。私達小さい頃は学校側でバスなど出して連れていってくれたのにとても残念に思う。
- 五所川原市は安心と安全な住みよい所を感じてきた。より好きな市にまた守るために温かい市民の声は大切だと思う。適切な方が選ばれる様心より祈っております。
- ・つがる市同様、義務教育の間、医療費無償化。（義務教育の間、一番医療費がかかる。）
 - ・少子化で外で子供の声を聞くのが少なくなった現状ですが、多子世帯のうちにあって、外で遊ばせていると、うるさいと苦情を言われる。公園も少なく遊ばせる場所がない。子育て環境が整っていない。
- 参加はできませんが若い人達が安心して楽しくらせる町にしてほしい。子育てについて、低額で学べる学習塾など、少なすぎることで、親の向上心が低いように感じ、もっと子供と向き合って頑張してほしいと思います。
- 増える「カラス」をなんとかして下さい。
- せっかく病院が出来ても、回りの道路に自分勝手に駐車している車が居たり、街中がさびしくなっている事がとても残念に思います。大きな議題もいいですが、目につく普段寄りの「目にして恥ずかしい事」を直していく事を考えてもらえればと思います。
- 今回のテーマに対して興味あります。津軽の子供さん達は純粋で将来も期待できる人材だと転勤して各地をみている私としては相対的に感じております。彼等の夢と才能を遺憾なく成長させるには自治体からの金銭的な補助が奥津軽地方には必要だと思います。医療の補助とか通学支援といった形で積極的に。
- 痛切に思っている事は冬の除雪に対する不満です！雪かたづけは高齢者にとってかなりの負担で、家によってブルドーザーに置かれていく雪の量が違いすぎ、ストレスがたまり隣・近所とも雰囲気が悪くなる。いくらTELをかけて対応をお願いしてもきいてくれない。業者を替えて欲しいと思っても無理なようで冬が来るのがいやになります。とにかく除雪排雪特に排雪に力を入れて欲しいです。五所川原に46年以上住んでいて一番の不満がこのことです。なんとか声を届けて下さい。

- 例えば立佞武多ですが、小学校の参加とかは無理なのでしょうか？今年は〇〇小学校で来年は〇〇小学校というように、小学校全体なら無理があるので、〇〇小学校の〇学年で毎年参加をつのるとか出来ないでしょうか？小さい立佞武多を作成して参加とか…衣装他色々な問題が出て来るとは思いますが…
私ごとですが、最近の流行にのるのは恥ずかしいですが、五所川原市内の御朱印を受け取れる神社・寺の場所（地図）が欲しい。→今回の討議会テーマと趣旨が離れてしまい、すみません。
- もう少し祭り（立佞武多）について考えてほしい。祭りなのに活気が無くなる一方。興味が無くなる一方。祭り期間を弘前・青森・五所川原と日時を一緒にするのはではなく、ずらす等観光客目線でも考えてみてはどうか。もう少し本格的に対策を練っていった方がいいと思う。
- より良い子育て環境と言われると、他の地域とくらべる事がなかったので、特に不満はありませんが、同じ市に住む親の意見などをきいてみたかったという思いがあったので、今回の参加できない事が少し残念でした。
また、将来的には、県外（首都圏）に行って欲しい（子供が）という気持ちがあります。
今の子ども環境というよりは、五所川原市の就職や、県外、海外との接点のある希望ある地域、若者達が、楽しめる地域になれば良いなと感じます。（言うのは簡単な事で、やるのはとても大変と分かっていますが、あえて正直な気持ちを書かせて頂きました。）
乱筆で申し訳ありませんが、読んで頂けると幸いです。
- 子育てをサポートする環境やサービスがもっと充実するようなまちづくりの実現のため、もっといろんな形で若い人達の意見を聞けるような機会づくりを検討してほしい。
- 高校生まで医療費無料の検討をお願いします。
- まちづくり推進の提案「花のまち五所川原」を提案します。
- つがる市や中泊の良い所を取り入れるといいのではないかと思います。
- 「子育て」→市内をきれいに！！きたない環境で良い子は育たない。
- 五所川原市は、どうして子供の医療費が保育園まで免除なのか。他の弘前市や青森などは、中学・高校まで医療費が免除なのに、子育てしにくい。
保険料も、2人目が半額、3人目はタダなのに、五所川原は、2人・3人同時に保育園に入園していないといけないので、それは若い人が他の弘前やつがる市や青森に移住する人が増える一方だと思えます。子育てしにくいと思えます。
- 私共一人暮らしの老人は、明日の食べ物そして体調など、自分をかんりし、生き延びるのでせいいっぱい。討議会に行く余裕など、ある由がない。そういうことです。
- 皆さんに頑張って貰いたいです。
- 都合が合えば参加したかった。（土曜日は仕事の為）
- 出張があるため参加できません。
- 今は、孫も大きくなり、近所には居ません。だいぶ昔の事なので、話が合わないと考えました。

- 若い人の積極的参加を期待したい。
- 御苦労様です。仕事で参加できません。市民の意見を聞き常に変身を求め行政の新しい進化を追求して下さい。
- 一般市民参加は良いことだと思います。
- もっと若い人達に参加させてください。田舎にいと子供達がいなのが残念でしたけれども時のながれなのでしかたありません。
- 第1回のときに参加しました。光栄にも再度当選するとは、驚きました。今回は、仕事のためどうしても参加することができず残念に思います。
- 1500名という多くの人を抽出していることにより、様々な人の参加が可能になるのではと感じた。
- 貧困家庭がなく、子供がやりたい道へ進めるような五所川原市となるよう願っています。
- 今後は、周辺町村との連携が重要と思う。合同の討議会必要と感じる。
- 休みの都合がつかず、協力出来ずすみません。また、このような機会があれば、参加してみたいです。
- 色々な世代の方々、仕事をお持ちの方々の意見を聞く事は、とても意義のある事だと思います。TVでも最近言われている、高齢者（退職者など）の力をもっと子育て支援に取り入れて、子育てサポートとして参加して頂く。（子育て相談、あずかり、登下校の見守り、その他）
- 少子化の現状にテーマが合っていると思う。近年共働き世帯が多くなっており、「子育て」も大変だと思っている。特に核家族が多く、保育、放課後児童など仕事の両立で悩みもあるのではないかと。家庭、行政、町内会等で連携し、子育て環境を考えて行くことが必要に思う。
- 仕事の都合で参加出来ません。参加できないのに、意思是述べられません。
- 次の機会には参加したいと思います。
- 市は子育て世帯にもっと補助があって欲しい。他市町村のように、保育料無料や、医療費も小・中学校まで無料など。
- 討議が市政に反映されるとは思えない。
- テーマ、討議手法等が所与のものでありトップダウンの会社形態と似たようなミーティングになりはしてないか。
各々の意見がどのように市政へ反映されていて、それは具体的に未来へどのように実現されていくのかまで透明化して、参加者しいては、市民に開示されることを希望します。
- 仕事の都合上、地元に住られる機会が少なく、今回の討議会には興味があっても参加は出来そうにありませんでした。インターネット等を利用した討論する場などがあればもう少し気軽に参加できるのですが…。
- いろいろな意見を顔を見ながら話し合えることはとても大事な事だと思います。しかし、テーマが子育てと、ちょっと幅広いテーマは誰でも気軽に参加できるには、荷が重すぎると感じました。
- 五所川原市は税金が高いという評判があるが（他町村に比べて）もっと節税に努めてほしい。

- ・五所川原市内の様々な立場の人から意見を聞く事は重要であり、多くのヒントを得ることができると思います。
- ・また、市政の動きや方向性がわかり、住民も日頃様々な事を考える良い機会になると思います。
- ・たくさんの意見がだされ、これからの市政が、市民のための“まちづくり”になっ
てもらえるとうれしいです。
- ・参加できなくて本当に残念だと感じております。次回もあれば、ぜひ参加したい
です。
- ・乳児医療費助成を6才まででなく、もう少し長くして頂きたいです。私の周りでは
つがる市の方が子育てしやすい環境だと、土地や家を買う方が多いです。
- ・このような機会に参加できず残念です。意見を出し合う場で活発に話し合えます
ように期待しています。
- ・行政や業界と異なった視点から夢のある意見がたくさん出されてほしいと思っ
ています。
- ・市民の目線で討議していただきたい。
- ・若い世代から様々な意見が聞けるすばらしい機会だと思うので、これからもこの
ようなことをつづけてほしい。
- ・健康状態が悪いので不参加させていただきます。申し訳ございません。
- ・盛会を祈ります。
- ・討議会の様子の写真を見てすごく楽しそうでしたが自分がその中でその様に出来
るか考えると不参加でお願いします。
- ・今回は、子の行事により参加できませんが、五所川原市が、子育てしやすい街に
なるよう、皆さんで議論してほしいと思います。
- ・土日働いている人もいますので考えて下さい。
- ・不参加の為ひかえさせていただきます。
- ・私は今74才です。こういった会議は若い人達が頑張っていく事がいいので、私
みたいに年老いた人間は影で応援していればいいと思います。書類を送って下さ
りありがとうございます。不参加として下さい。
- ・今回のテーマ、3～4時間の討議で居る事はないと思う？
- ・また別な機会があれば参加したい。できれば、午前中にやって欲しい。
- ・定期バス（青森←→五所川原）の運行経路について、ELMに行きやすいよう
にして欲しい。
- ・市立図書館の新築について、つがる市の図書館が利用しやすいため、将来をみ
すえ考えて欲しい。
- ・市民が使用できるトレーニングルームを作って欲しい。安価で利用（健康管理
を考えて）
- ・より良い街づくりの為に討議会の成功を祈ります。
- ・仕事の関係上、日曜日開催していただくと次回参加しやすいです。
- ・テーマは子育てなので10代の私にはまだ身近に感じられないが意見を出し合っ
て市民が参加できるというのはとても良い案だと感じた。

- 本人が遠方にいるためアンケートに記入できません。
- 今後とも色々なテーマで開催することを望みます。
- 今年で6回目の開催とのことですが、今までの参加率は高いのですか？30／1,500名とのことなのでたりているかもしれませんが、日程が合えば参加してみたいと思いました。開催日時にいくつか候補があってもいいのかなと思いました。
- 子育てのできる環境づくりが必要で国の学費無償化による高等学校までの義務教育と市町村各町内会単位の子育て支援員の制度化が必要。
- 無作為抽出による選出も結構ですが、10代と60代・70代との意見が合わないことは、はっきりしています。同年代の討論も検討されてはどうでしょうか。片寄った結果になると思いますが、一回の討論では必ず矛盾が生じます。結果は結果として今後の市の反映に繋がれば良いのではないのでしょうか。不参加です。
- 討議会も良いとおもいますが、参加人数が限られているので、1,500人の方にテーマに沿った意見をアンケートから得るのもいいかなと思います。
- 現在、保育士として働いており、このような研修会がたくさんあり、正直仕事の延長に感じ、気持ちが乗りませんでした。保育園、小・中学校のご父兄（祖父母も）応募を募るのはいかがでしょうか。皆さん、意見をたくさん持っていられるように感じるからです。
- 市民の声、意見を発する機会として、非常に良いことと思います。自分は今まで無関心だったなぁと反省しております。また機会があれば参加したいと思いました。頑張ってください。
- もっと子どもと遊べる場所をつくってほしい。・遊具のある公園・無料で遊べる（室内）所・動物園…自然、動物や生き物と触れ合える場所。

市民討議会を開催します

市と公益社団法人五所川原青年会議所の共催で、五所川原市民討議会を開催します。

市民討議会とは、地域住民がテーマに沿った意見を出し合い、結果を取りまとめて行政に報告書を提出する「新しいかたちの住民参加」として平成24年度から開催しています。

無作為で選出された住民が参加するため、より多様な住民の意見が聴けること、参加する住民によっては関心の薄いテーマもあることから、普段あまり関心のなかった行政課題などを考える機会となり、住民の行政への参画意識の向上に効果的であることが特長とされています。

これまで参加した方々の意見は、五所川原市総合計画に反映されたり、市民の有志によって事業化されるなど、五所川原市をより良くするための取組に活用されています。

今年度の市民討議会は、ごしょがわらの「子育て」をみんなで考えよう～より良い子育て環境って何だろう～をテーマに開催します。

参加者決定方法

住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の市民1,500人に参加案内書を送付し、参加希望者の中から抽選で参加者30名を決定します。

市民討議会参加案内書が送付された皆さんは、参加についてご協力をお願いします。

*参加資格を有する方は、参加案内書が送付された方となります。

市民討議会

日時・場所 平成29年7月22日(土) 13:30～
市民学習情報センター

討議テーマ ごしょがわらの「子育て」をみんなで考えよう～より良い子育て環境って何だろう～

*市民討議会は公開で開催します。申し込みなしで自由に観覧できますので、お気軽にお立ち寄りください。

お問い合わせ先

- ・五所川原市民討議会実行委員会
(五所川原青年会議所内) TEL35-4049
- ・五所川原市企画課 内線2153



H28年度の市民討議会の様子

市民討議会の流れ

5月中旬

住民基本台帳から18歳以上の市民1,500人を無作為に抽出します。

6月上旬

抽出された市民に市民討議会の案内書を送付します。

6月下旬

参加希望の回答者から抽選で30名を選出し参加決定通知を送付します。

7月22日

五所川原市民討議会の開催。

報告書を作成し、市に提出します。

広げよう・地域に根差した思いやり

民生委員・児童委員は、地域福祉の推進役として、お年寄りや身体が不自由な人、ひとり親世帯などの生活支援や子どもたちの健全な育成に取り組んでいます。

次のような困りごとがありましたら、どうぞ、お気軽にご相談ください。

- ▷福祉サービスの制度や窓口が分からない
 - ▷病気やけがで生活に困っている
 - ▷身体に障がいがあるので災害時の避難に対して不安
 - ▷育児や子どものしつけで悩んでいる
 - ▷近所で児童虐待・高齢者虐待らしい様子を目撃した
- 民生委員・児童委員には、秘密を守る義務があり、相談の内容が漏れることはありませんので、安心してご相談ください。

*地区担当の民生委員の氏名がわからない場合は、お問い合わせください。 問…保護福祉課 内線2424

五所川原市民討議会実行事業報告

○実行事業に至った経緯

平成29年7月22日に、平成29年度五所川原市民討議会を開催しました。今年、子育て環境をテーマに討議を行い、その中で出された意見を企画し事業化することを、ひとつの目的として討議会を開催いたしました。

討議シートに、今年の討議会の意見を載せていますが、その中のキーワードを抜粋し、「親子で体験！森のビンゴ族」と題して、自然に触れながら親子愛を深める目的で開催しました。

○実施日時・参加人数

開催日時：平成29年10月29日（日）

開催場所：青森県立梵珠少年自然の家

参加人数：五所川原市民討議会参加者	3名
公益社団法人五所川原青年会議所会員	18名
一般市民	140名程度

○事業内容

- 市民討議会が出された意見を基に、子育て環境の一環として、五所川原青年会議所で「親子で体験！森のビンゴ族」と題して、青森県立梵珠少年自然の家主催の自然体験ぼんじゅフェスタの会場を借りて事業を開催いたしました。ゲーム内容は、数字の代わりに動植物が書かれたビンゴカードを持って自然の中を散策し自然に親しみながらビンゴゲームを楽しむのとクイズやビンゴ族が出す数々のミッションをクリアしてポイントをゲットして、点数が高いチームが勝ちとなるゲームです。

○事業結果

- 親子愛が深まるようなミッション、クイズ、なかなか見つからないソルジャーや動植物などを探すビンゴなど、大人から子どもまで楽しめるよう企画し、親子合わせて140人程度の市民の皆様に参加していただきました。散策コースは、アップダウンが激しい場所もあり、子どもの足だと大変かなと思っていましたが、「疲れたけど、楽しかった」という声をたくさん頂きました。なかなか外で遊ぶ機会が少なくなった今、この地域にも自然に触れ合いながら親子で楽しめる場所、環境があるということを知って頂いたと思います。この環境を大切に、今後もより良い子育て環境として利用して頂けたらと思います。

「平成29年度五所川原市民討議会実行事業」 参加者アンケート結果（全3名）

(質問 1) 本日、この市民討議会実行事業の内容は市民討議会の結果が反映されていたと思いますか？

1 反映されていた…………… 3名

(質問 2) 事業の実施時間の長さはいかがでしたか。

2 ちょうど良い…………… 3名

(質問 3) この施設を利用したいと思いましたが？

1 ぜひ利用したい…………… 2名

2 どちらとも言えない…………… 1名

(質問 4) また市民討議会の結果を基にした事業に参加したいと思いましたが。

1 ぜひ参加したい…………… 1名

2 機会があれば参加したい…………… 2名

五所川原市民討議会実行事業
「親子で体験！森のビンゴ族」
アンケート結果（全47名）※複数回答あり

(質問 1) 本日、この市民討議会実行事業、親子で体験『森のビンゴ族を探せ!』に参加してみてどうでしたか？

- 1 楽しかった…………… 46名
- 2 どちらともいえない…………… 1名

(質問 2) 事業に参加して「自然愛」「親子愛」（友情）は深まりましたか？

- 1 深まりました…………… 36名
- 2 少し深まりました…………… 11名

(質問 3) 今回、親子（友達）で参加してみて、またこの施設を利用したいと思いましたが？


- 1 ぜひ利用したい…………… 47名

(質問 4) 今後、どのような親子イベントがあったら良いか、ご意見やご要望がございましたらお書き下さい。

- ・サイクリングをしながら、問題を解く
- ・職業体験（本格的なやつ）
- ・今回の散策コースを利用したものが良いです。
- ・自然と楽しむ、今回のようなイベントがあれば良いです。
- ・危険生物の人形をさがせ
- ・親子クッキングなど
- ・親子でスポーツをして得点を競うみたいなイベント
- ・夏の虫取り

- 山菜採り
- 雪遊び
- 自然に触れ発見する楽しみができる体験
- 親子で一つのを共有できるイベント
- 来年また来たいです。
- 郷土の歴史を巡る旅
- ありがとうございました
- 今回とても楽しく、体力作りや親子で一緒に探したり助け合ったり子どもの成長と優しさを感じる事ができました
- クイズを子ども向けのものがあっても良いと思います
- 来年もぜひ参加したいです
- 年に1回でなく、夏にもこういうイベントをしてほしい
- クイズは子どもでも解ける問題が良い
- 自然の家にみんなで泊まりたい
- 親子キャンプ
- 親子宿泊スキー教室
- 子ども中心の体験型イベントが良いと思います。

講師(コーディネーター)プロフィール

氏名 (フリガナ)	平井 太郎 ヒライタロウ	
生年月日(年齢)	昭和 51年 5月14日 (41歳)	
勤務先	弘前大学大学院地域社会研究科	
家族	妻	
住所	〒036-8184 青森県弘前市松森町141 A-201	
TEL・FAX email	TEL 090-4415-3537 (勤務先) FAX 0172-39-3210 メールアドレス: of-hirai@nifty.com	
専門など	社会学	
経歴・職歴	西暦	
	2000年	東京大学教養学部教養学科卒業
	2003年	特定非営利活動法人 小田原まちづくり応援団 副理事長(現職)
	2008年	東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了、博士(学術)取得 日本女子大学人間社会学部学術研究員
	2010年	小田原市・国見町 歴史まちづくり協議会 委員(現職)
	2012年	弘前大学大学院地域社会研究科 准教授(現職)
	2012年	総務省地域力創造アドバイザー(現職)
	2012年	国土交通省集落地域における小さな拠点形成推進に関する検討会委員(現職) 2012年 青森県つがる西北五活性化協議会委員(現職)

平成29年度五所川原市民討議会 報告書

編集 平成29年度五所川原市民討議会実行委員会